

オオヤマ カイドー ニュース

#工事レポート

vol.8

オオヤマカイドーニュースとは？

大山街道（宮益坂・道玄坂）の整備に関わる耳より情報を発信します！

オオヤマカイドーニュースvol.8では、宮益坂整備工事の様子をレポート！普段生活していて、道路工事を目にすることはよくあると思いますが、どんな工事をしているかを知る機会は中々ないはず。

そこで今回は、工事を担当する区職員の村上さん、現場を取り仕切る東栄建設の山口さんにインタビューし、現在どんな工事が行われているか、詳しくお話を伺いました。

宮益坂の整備工事が進行中！工事の様子をレポート



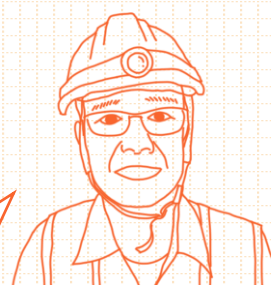
GUEST SPEAKER に聞く 大山街道（宮益坂・道玄坂）にまつわる思い出はありますか？



村上さん
(渋谷区神宮前土木事務所)

仕事終わりに宮益坂の飲み屋に行ったり、休日は道玄坂のライブハウスに遊びに行ったりと、プライベートでも馴染みのある通りです。大山街道整備事業には計画段階から関わっているので、今実際の工事に携われているのはとても感慨深いものがあります。

だいぶ昔の話ですが、高校生の頃から渋谷にはよく遊びに来ていました。その後入社した会社が表参道にあったので、時々宮益坂も通ってましたね。その道路の工事に関わるとは当時は思ってもなかったのですが、渋谷の駅前を変える大型プロジェクトに関われて光栄です。



山口さん
(東栄建設)

現在までに、こういった工事が行われてきたのでしょうか？

村上さん) 最初に行ったのは、昨年12月頃、街路灯の設置予定場所に、**設置の支障になる構造物等が埋設されていないか確認する試掘工事**でした。それから、雨水を流すための**雨水ますや側溝の設置**、歩道と車道の境界への**境界ブロックの設置**などを施工してきました。7月末現在は、**街路灯の基礎を設置する工事を行っている**ところです。

街路灯の杭基礎工事について、詳しく教えてください！

山口さん) 今回街路灯を固定するために打設した杭基礎は、**長さが3.5m、幅と奥行きが250mmの大きなH形鋼**です。このH型钢の上に街路灯が設置されるので、正確な位置に真っ直ぐ地中に打設することが重要になります。

H形鋼の打設には、クレーン車のアーム先端にバイブロと呼ばれる装置を取り付け、**H形鋼の上部に着けた“つまみ”を掴んで、振動させながら地中に打ち込む工法**を採用しています。地上の作業員2-3名が位置や角度を調整しながら打設していて、一晩で4、5本施工できました。

通常、深さ800mm程度の基礎も多いのですが、この辺りは地盤の硬さを表すN値が低く、比較的柔らかい地盤なので、硬い土の支持層まで深く打ち込むことにしました。試掘工事と同時に実施した地盤調査の結果を踏まえて、杭基礎の長さやサイズを決めたと聞いています。

今後はこういった工事が行われる予定ですか？

村上さん) これまでは、完成後見えなくなる、基礎や設備関係の工事が多かったですが、**今後は、街路灯や分電盤、スツール、横断抑止柵などの設置**が続いていきます。ちなみに、既存の街路灯から新しい街路灯への切り替えも、11月～12月頃には実施予定です。歩道上の構造物の設置が終えたら、歩道の石張り舗装工事、次に車道のアスファルト舗装や区画線、自転車ナビマークの施工に移っていきます。

山口さん) 石張り舗装工事は11月頃から始められると思います。**11月末頃には、歩道がどれだけ広がったか、歩行者の方にも分かりやすく実感してもらえ**んじゃないでしょうか。

整備後は、歩道も広がり、今までと違った道路空間になりそうですが、お二人はここでどんな風に過ごしてみたいですか？

村上さん) 今までは人が行き交うことが主でしたが、**広場のような、公園のような空間**になるんじゃないかと期待しています。**スツールに座って本を読みたい**ですね。

山口さん) 渋谷駅周辺の他の通りと比べて、**余裕のある、憩いの場所**になるんじゃないでしょうか。上質な空間にもなりそうなので、**ゆっくりくつろぎにきたい**ですね。



街路灯の杭基礎工事の様子：車両感知器や電線など道路上の構造物を避けながら施工



設置された杭基礎：図面通りの位置、深さに打ち込めているか入念にチェック

工事概要

令和7年9月現在、宮益坂の坂中部分において、延長約100mの歩道を約3.5mから最大約7.5mに拡幅・整備を行っています。拡幅・整備に伴い、舗装に天然石を使用したり、道路照明やスツール等を更新したりするなど、歩行者中心の道路空間を目指しています。今回の坂中部分の工事は令和8年2月（予定）まで実施しますが、その後も宮益坂の坂上、坂下も整備を行う予定です。

大山街道（宮益坂・道玄坂）整備事業について

渋谷区では、渋谷駅から東西に延びる大山街道（宮益坂・道玄坂）において、歩行者中心の道路空間の実現を目指しています。これまでに、車線数の縮小や路上駐車削減のための社会実験等を経て、現在の整備につながっています。これまでの取り組みについては、区ポータルにて情報発信を行っています。



詳細は
区ポータルへ

渋谷駅中心地区大規模再開発 について

渋谷駅中心地区は官民パートナーシップの下に、渋谷駅の機能更新と再編、駅前広場や道路などの公共施設の再編・拡充及び都市再生特別地区の指定を受けた大規模複合開発ビルを一体的に行うことにより、100年の一度の渋谷駅周辺の再生が進められています。渋谷駅中心地区工事・工程協議会（CM会議）では、段階的に整備される渋谷駅周辺の状況や工事情報の発信を行っています。



詳細は
CM会議HPへ